



外観イメージ図

図書館サービスの再編を掲げた「舞鶴市図書館基本計画」に基づき、令和9年度末の開館を目指して（仮称）舞鶴市立中央図書館の整備を進めています。

令和6年3月から、図書館の枠組みを作るための基本設計業務を開始し、設計事業者を交えたワークショップを開催。図書館内のエリアやその使い方について、市民の皆さんからたくさんご意見をいただきました。市民の思いが詰まった図書館像ができましたので、紹介します。

《図書館課》



思い描く  
図書館づくり  
[第6回]

（仮称）  
舞鶴市立中央図書館  
基本設計が完成

### 9 市民活躍エリア(2階)

市民同士が行う講座など、自由な活動ができます。市民活動やその様子を外側からも見ることができる「市民活躍ルーム」もあります



### 5 子どもエリア

絵本の読み聞かせやおはなし会、子どもを見守る多世代の人が利用できる「みんなのひろば」もあります



### 1 エントランスひろば

西舞鶴駅とのつながりを考え、さまざまな催し物や活動に利用できる、まちのにぎわい創出スペース



### 4 ギャラリーエリア

作品展示などができる市民の活動スペース



### 3 市民交流エリア

飲食しながら、市民同士で交流できるスペース

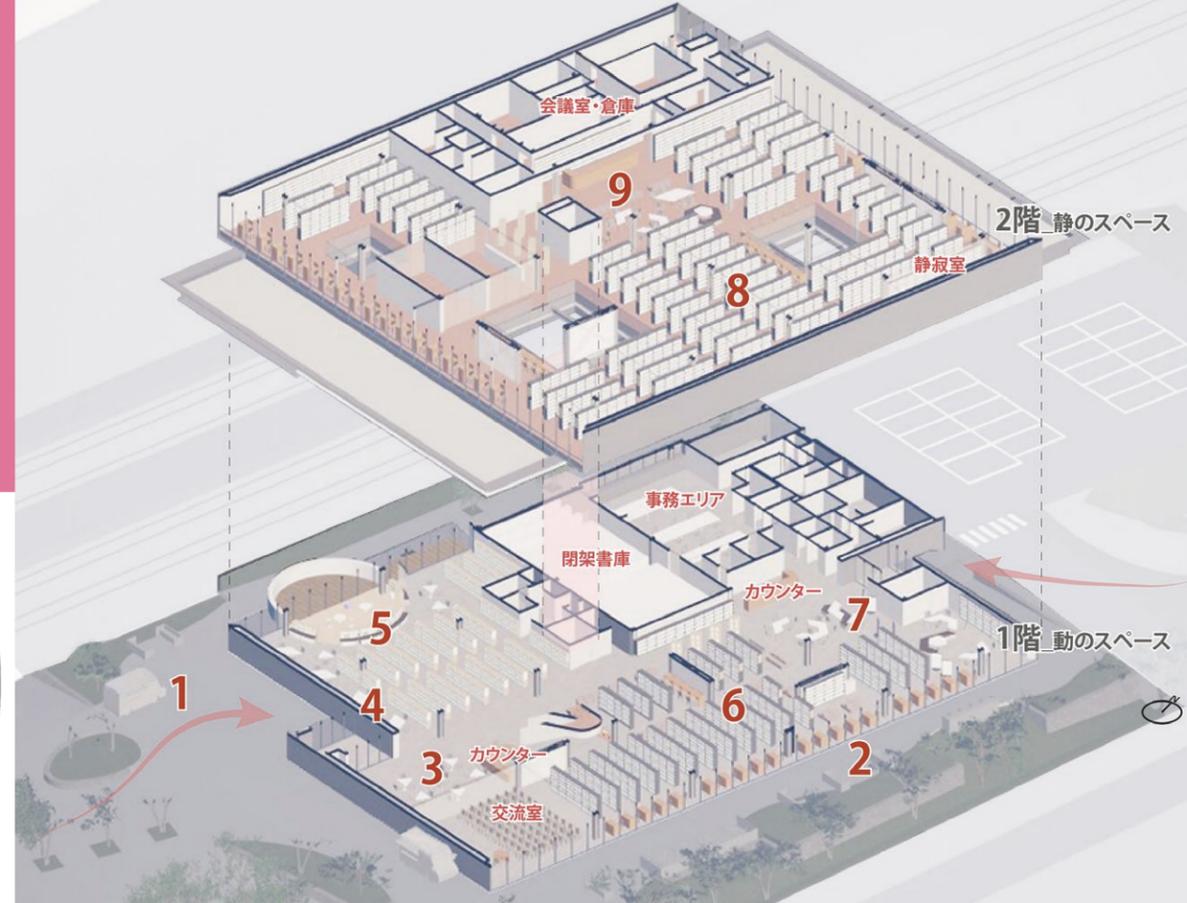


### 2 こもれびひろば

図書館外側に設置した緑豊かなベンチスペース



中央図書館の内部イメージ



### 中央図書館の各エリアでできる活動は…

#### 8 開架エリア(2階)

専門書を中心とし、調べものなどができる落ち着いたあるスペース



#### 7 市民活躍エリア(1階)

市民同士が行う講座など、自由な活動ができるスペース



#### 6 開架エリア(1階)

一般書を中心とし、明るく開放的なスペース

